

南国市

概要版

小中連携学力向上 推進プラン

＜平成23年度～平成25年度＞

次代を担う子どもたちのために



南国市は「かがやく明日への人づくり」を学校教育指標とし、「学力向上」と「人権教育を基盤とした生徒指導」を両輪として、義務教育9年間で「学力・気力・体力」を十分に備え、自らの進路を自らの力で拓くことのできる児童生徒の育成をめざしています。

平成20年度から重点的に取り組んでいます南国市小中連携学力向上推進プロジェクト事業の実践研究の中で見えてきた課題や成果を基に、今後の方針や重点取り組みについてまとめた「南国市小中連携学力向上推進プラン」を策定しました。このプランを南国市の学力向上の取り組みの柱とし、南国市の全教職員が一体となって、次代を担う子どもたちの育成に取り組んでいきます。

学校教育の取り組みを、広く家庭や地域の方々に知っていただき、より一層の学校教育へのご支援、ご協力をいただけることを願って本リーフレットを作成しました。

「みんなで、次代を担う子どもたちの育成に取り組む！」そんな南国市をめざしていきます。

南国市教育委員会
南国市小中連携学力向上推進委員会

南国市の小中連携学力向上の取り組み

南国市学校教育指標

「かがやく明日への人づくり」



小学校 6年間



中学校 3年間



義務教育9年間を見通した系統的・継続的な教育

小中連携した学力向上の取り組みの推進

南国市小中連携学力向上推進プラン 概要

[平成23年度～平成25年度]

南国市のめざす児童生徒像

「学力向上」と「人権教育を基盤とした生徒指導」を両輪として、義務教育9年間で「学力・気力・体力」を十分に備え、自らの進路を自らの力で拓くことのできる児童生徒。

学力の定着状況についての目標

- 【目標】 ①全国学力・学習状況調査において正答率が全国平均値を上回る。
②到達度把握調査における正答率が全国平均値を上回る。

研究内容

学力向上のための小中連携による組織的なPDCAサイクルの確立

具体的研究内容について

児童生徒に確かな学力を身につけさせるためには、義務教育9年間を見通した系統的・継続的な取り組みを行うとともに、日々の授業を通して学習内容に対する理解を深め、自ら学ぶ意欲を育てることが重要である。

本プラン（南国市小中連携学力向上推進プラン）では、中学校ブロックでの研究内容を「学力向上のための小中連携による組織的なPDCAサイクルの確立」とし、次の2つの具体的研究を日常の教育活動において全教職員が一体となって取り組み、短いスパンで検証と改善を図っていくこととする。

1 小中連携による組織的な推進体制の確立（課題に基づく具体的行動連携）

2 小中連携による学力向上の実践研究（規範意識の育成、授業改善、家庭学習の定着）

重点取り組み

規範意識の育成

- 基本的生活習慣の定着
- 発達段階に応じた学習規律の定着（「あいさつ・返事・掃除」の徹底）

授業改善

- しっかり教える
- じっくり考えさせる
- はっきりと発表（表現）させる

家庭学習の定着

- 授業と家庭学習、学校と家庭が連携した家庭学習の指導の徹底

すかがやく明日への人づくり



あいさつ 掃除 授業 家庭学習

南国市教育委員会

南国市小中連携学力向上推進委員会

平成23年3月

※南国市小中連携学力向上推進プラン「スローガン」は各学校へ掲示しています。

あいさつ 掃除

【規範意識の育成】

学校・家庭・地域におけるしつけや基本的なマナーの育成、基本的な生活習慣の確立等は、社会性を身につけるための基礎となります。次代を担う子どもたちに、身につけさせたい基本的な生活習慣や学習規律等については、数多くありますが、その中でも「あいさつ 掃除」に重点的に取り組みます。

授 業

【授業改善】

授業で、「しっかり教える」「じっくり考えさせる」「はっきり発表(表現)させる」ことや、基礎的基本的な知識・技能、思考力・判断力・表現力等の諸能力を身につけさせ、より高めていくための授業改善に重点的に取り組みます。

家庭学習

【家庭学習の定着】

学習の習慣を身につけさせ、確かな学力の定着を図るために、授業とむすびついた家庭学習、学校と家庭が連携した家庭学習について重点的に取り組みます。

<小中連携による学力向上の実践研究の基本的な考え方>

児童生徒の基本的な習得内容等

- 自ら学び取っていく、知的な学習の喜び
- 教科領域における知識・技能の習得
- 教科領域における思考力・判断力・表現力等の習得

- 学習規律の定着
- 聞く力・話す力・書く力・読む力(資料読解・活用、調べる力、話し合う・表現する力)の習得
- 家庭学習の習慣化(授業との一体化)

- 所属感や連帯感
- 自尊感情
- 郷土愛

各教科領域 の指導技術

教科領域 共通の指導技術

知識・技能等の定着、
思考力・判断力・表現力等の育成、
言語活動の充実、問題解決的な学習の充実、
学習集団の育成、評価の方法・技術の向上 等

信 頼 関 係

先生・子ども・保護者・地域の方々

小中連携による基本的な実践研究内容

- 教材研究・構成・系統性
(ネタの豊富さ・先生の引き出しの多さ)

- 学習規律の指導の徹底
- ノートのとらせ方
- 話し合いのさせ方
- 評価の仕方・技術
- 指導技術(先生の巧みな言語力・判断力・表現力等)
- 児童生徒の意欲化
- 学習集団づくり
- 家庭学習の指導

- 実態把握・分析
- 学級経営
- 児童生徒理解
(心理・心情を
しっかり把握)

- 毎日の生活の基礎・基本(基本的な生活習慣等)
あいさつ・返事、掃除・整理整頓、学習の準備、身だしなみ、友だちづきあい、
場にあった言動(感謝の気持ち)、早寝・早起き、食事、安全への配慮 等

- 家庭、就学前の教育・小・中学校、地域で連携
を図った発達段階に応じた継続的な指導。

家庭学習100%の南国市



家庭学習の習慣が身につく3つのポイント

ポイント② 学習習慣づくり

- ①決まった時間になったら机に向かう
- ②机の上は学習用具だけ
- ③「ながら勉強」をしない
【テレビ・食べる・ゲーム・メール】
- ④文字をていねいに正しく書く
- ⑤まず宿題をする
- ⑥できれば宿題以外にも予習・復習をする
【小学校4・5年生ごろから】
- ⑦いろいろな本をたくさん読む

ポイント① ご家庭の方の関わり

- ①早寝・早起き・
朝ごはん
【生活リズムを整えよう】
- ②親からすすんであいさつをしよう
- ③子どもの行動に関心をもとう
- ④親子の会話を大切にして、子どもとのふれあいをもとう
- ⑤子どものがんばりを具体的にほめよう
- ⑥読み聞かせや一緒に本を読む時間をもとう

学習時間のめやす ポイント③

- 小1 20分 以上
- 小2 30分 以上
- 小3 40分 以上
- 小4 50分 以上
- 小5 60分 以上
- 小6 70分 以上
- 中1 80分 以上
- 中2 90分 以上
- 中3 100分 以上

パターン①

午後4	5	6	7	8	9	10	11		

パターン②

午後4	5	6	7	8	9	10	11		

パターン③

午後4	5	6	7	8	9	10	11		

家庭学習の計画をたてよう
(食事、勉強、寝る時間などを
書き込みましょう。)

計画をたてよう
プラス♥

南国市家庭学習の手引き

南国市小中連携学力向上推進委員会
南国市PTA連合会
南国市教育委員会

学校名

名前